



◎事業委員會部會開會

第一部並第三部調査委員會は、昭和十年十二月二十六日
内務省第四會議室に於て開催、新居、武井、三浦、佐藤、
岩澤、藤井、加藤、永田、武若、吉江、鈴木、大石、小野
寺、小澤、近藤、谷口、藤村、都筑、小島の各幹事委員出
席、都筑幹事第一部「道路に關する一般事項の調査」及び
第三部「六大都市道路改良協議會」に關する議案の内容説
明ありて、直ちに審議に入り、午後三時散會せり。
第一部並第三部調査委員會は、昭和十一年一月十五日内
務省第三會議室に於て開催、新居、武井、三浦、佐藤、岩
澤、加藤、永田、大石、吉江、小野寺、武若、鈴木、小

澤、近藤、谷口、藤村、都筑、小島の各幹事委員出席し、
第一部並第三部に關する議案の審議に入り、各議題毎に小
委員會を設けて研究調査することとなり、午後四時三十分
散會せり。

第五部「道路職員必携發行」に關する委員會は、一月廿
日内務省第一技術課技師室に於て開催、永田、岩澤、近藤、谷
口、都筑、小島の各委員幹事出席し、道路職員必携發行に
關して種々重要なる打合せをなし、午後四時散會せり。

◎新刊圖書の二、三

一、本邦道路橋輯覽 第三輯

内務省土木試験所編

土木試験所で大正十四年最近の道路橋中主なる鋼及鐵筋
混凝土橋中十二種百四十餘橋を選擇し橋長、徑間、幅員、
材料、工費、荷重、土質等の細目を表示し寫眞をも登載し
て刊行し其後昭和三年三月第二輯を編し、今回第三輯を公
にしたものである。則ち最新の技術を應用せる優秀橋梁の

數三百橋に達し、其内最も參考に値する百六十八橋を選び編集したのであるが、其の内容體裁等は從來の様式を一新し總て米突式に改め各橋種毎に鋼材重量公式を掲げ、實務の指針研究の資料として完璧を期するの抱負に出たものである。

一、日本都市年鑑(昭和十一年用)

東京市政調査會

東京市政調査會では一般都市の狀態を調査し之を公刊して世に裨益を與ふること既に四卷に及んで都市行政に干與する者の唯一の參考書とも見られて居るが今第五卷として昭和十一年用を刊行せられた。調査したる材料の正確と編纂の改善とは著しく認めらるゝものである、之を第四卷に比するに省略したる部分があるが新に加へたる部分も少ない、敢て希望を言へば各都市の沿革大要と特徴の如き事項を加へられたいことである。

一、早稻田建築學報 第十二號

早稻田會刊行

早稻田建築學報は毎號其の編輯と内容に苦心の跡を見るのであるが本號の如きは水戸東照宮の建築に關しての研究調査がかけられ、内藤博士外二氏の電氣銻接法による鐵骨と鐵筋との接合部の研究も公にせられ又伊藤大阪市技師の小學校建築を如何に改良すべきかとの實際的研究意見が資料として登載されて居つて建築技術上好參考材料が少ない。

◎選舉肅正標語(其の三)

清き一票立派な報國	鹿兒島縣
正しき一票誠の奉公	宮崎縣
清き一票神かけませう	大分縣